

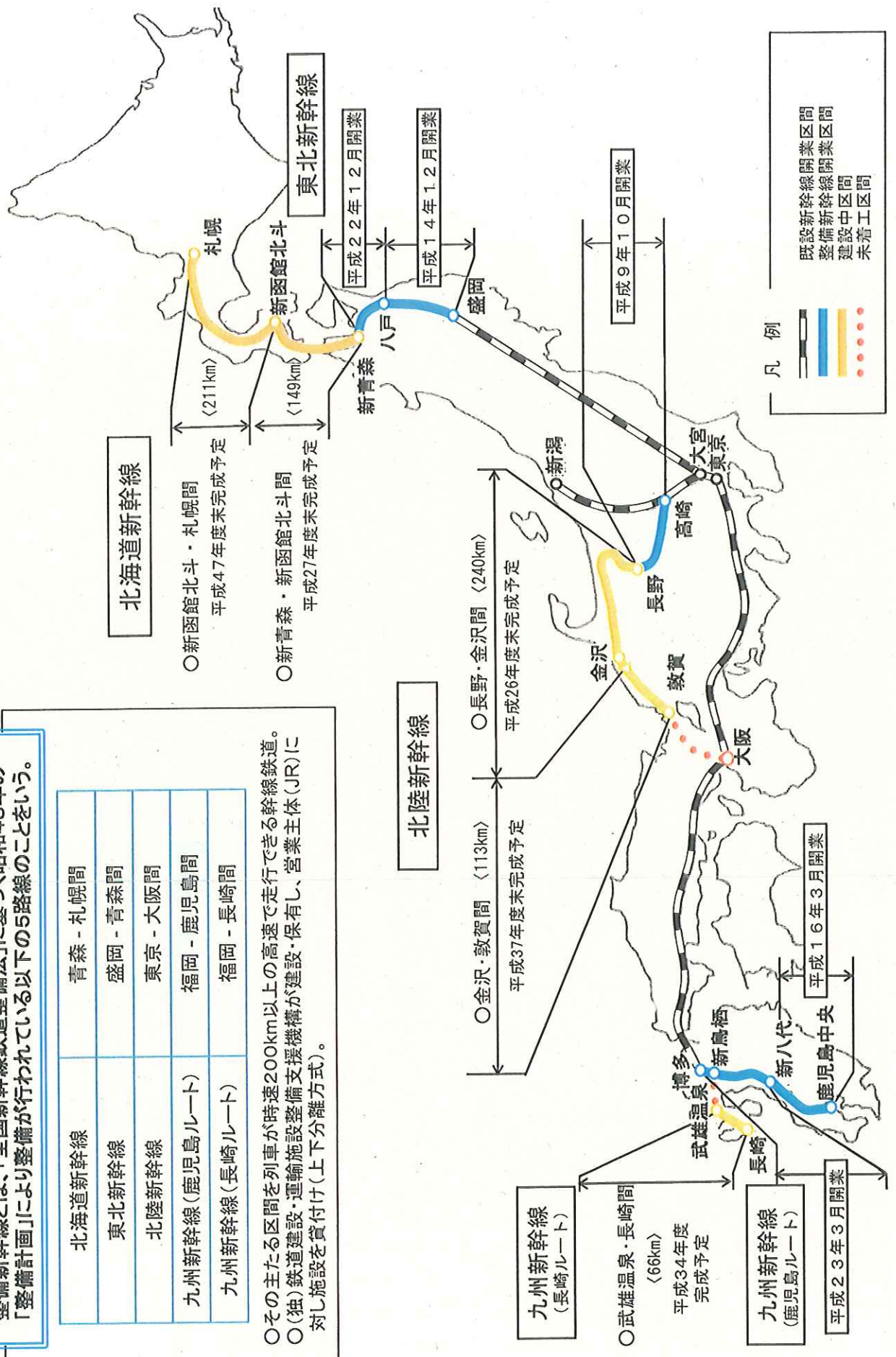
關連資料

全国の新幹線鉄道網の現状

整備新幹線とは、「全国新幹線鉄道整備法」に基づく昭和48年の「整備計画」により整備が行われている以下の5路線のことをいう。

北海道新幹線	青森 - 札幌間
東北新幹線	盛岡 - 青森間
北陸新幹線	東京 - 大阪間
九州新幹線(鹿児島ルート)	福岡 - 鹿児島間
九州新幹線(長崎ルート)	福岡 - 長崎間

○その主たる区間を列車を列車が時速200km以上の高速度で走行できる幹線鉄道。
 ○(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設・保有し、営業主体(JR)に対し施設を貸付け(上下分離方式)。



北海道新幹線

○新函館北斗・札幌間
平成47年度末完成予定
 ○新青森・新函館北斗間
平成27年度末完成予定

北陸新幹線

○金沢・敦賀間 <113km>
平成37年度末完成予定
 ○長野・金沢間 <240km>
平成26年度末完成予定

九州新幹線
(長崎ルート)

○武雄温泉・長崎間
<66km>
平成34年度
完成予定

九州新幹線
(鹿児島ルート)

平成23年3月開業

凡例

- 既設新幹線開業区間
- 整備新幹線開業区間
- 建設中区間
- 未着工区間

新規着工区間一覧(平成24年6月29日 認可)

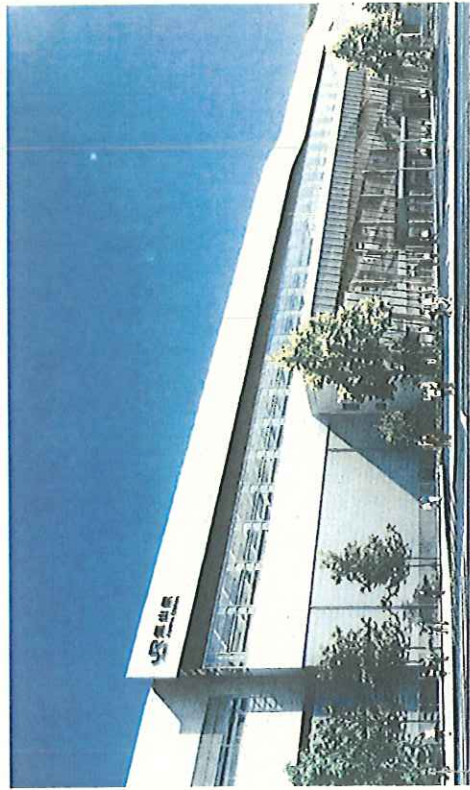


<p>北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)</p> <p>20km</p> <p>認可対象区間 (新函館北斗～札幌間)</p> <p>既着工区間 (新青森～新函館北斗間)</p>	<p>北陸新幹線(金沢・敦賀間)</p> <p>20km</p> <p>認可対象区間 (金沢～敦賀間)</p> <p>既着工区間 (長野～金沢間)</p>	<p>九州新幹線(武雄温泉・長崎間)</p> <p>20km</p> <p>認可対象区間 (武雄温泉～長崎間)</p> <p>山陽新幹線区間 (標準軌)</p> <p>フリーゲージトレイン(FGT) 至 新大阪</p>
<p>◇延長: 211km うち、トンネル区間 約160km(約75%)</p> <p>◇最高速度: 260km/h</p> <p>◇整備期間:H24年度～H47年度</p> <p>◇総工事費: 1兆6,700億円</p> <p>◇投資効果(B/C): 1.1</p> <p>◇収支採算性: 35億円</p> <p>◇建設工事起工式:平成24年8月25日</p>	<p>◇延長: 113km(白山総合車両所起点) うち、トンネル区間 約37km(約32%)</p> <p>◇最高速度: 260km/h</p> <p>◇整備期間:H24年度～H37年度</p> <p>◇総工事費: 1兆1,600億円(フリーゲージトレイン)</p> <p>◇投資効果(B/C): 1.1</p> <p>◇収支採算性: 102億円</p> <p>◇1兆1,600億円にはフリーゲージトレイン導入に係るアプローチ線の費用等約300億円を含む。</p> <p>◇建設工事起工式:平成24年8月19日</p>	<p>◇延長: 66km うち、トンネル区間 約41km(約62%)</p> <p>◇最高速度: 260km/h</p> <p>◇整備期間:H24年度～H34年度</p> <p>◇総工事費: 2,100億円 (既着工分含め全体で5,000億円)</p> <p>◇投資効果(B/C): 1.1</p> <p>◇収支採算性: 20億円</p> <p>◇建設工事起工式:平成24年8月18日</p>

Design Concept

豊かな自然の懷に抱かれたやさらぎの駅

北信州の土地の姿を映し出す場としての駅空間
素材や意匠が映された駅空間
交流が生まれる駅空間
(SUMMITの提案による)

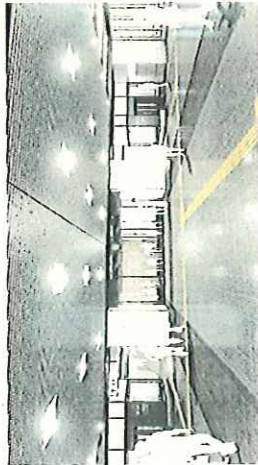


飯山駅

デザイン
イメージ

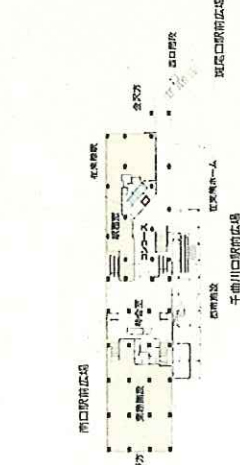
雄大な大地と伝統美を感じさせる駅

都会ではあることのできない雪山の印象的なまじりと飯山の伝統工芸である和紙「内山紙」の柔らかなさを
感じさせるデザインをテーマとしています。



コンコース

和紙から光が透ける行灯のような木と長野県産の木材を愛用
たしつらえて、温もりのある空間を目指しています



■計画概要
駅形状: 高菜下駅 相対式2面2線
ホーム長: 312m
昇降設備: EV-4台、ESC-6台(都市施設を含む)
※エレベーターは建設費削減のため設置せず



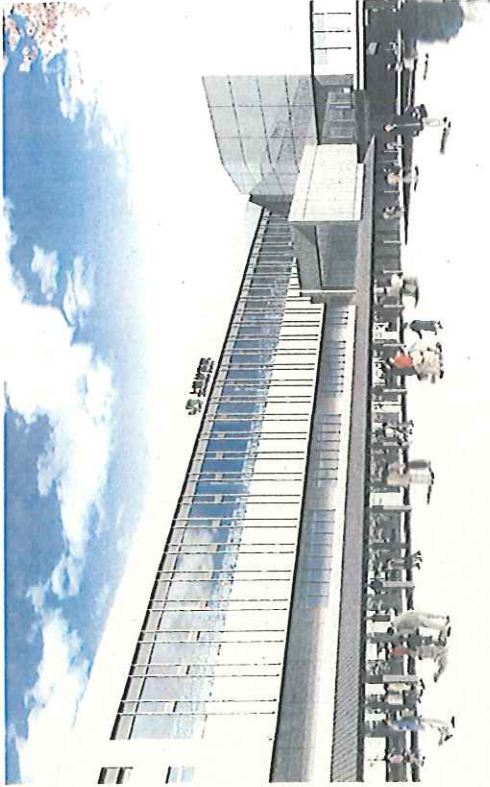
飯山の雪景色



菜の花畑

記憶に残る駅

雄大な自然や歴史、春に彩られた街道、夏にも対応した駅舎構造など。
地域性に対応したデザインで、上層をアピールする駅空間
(SUMMITの提案による)



上越妙高駅

デザイン
イメージ

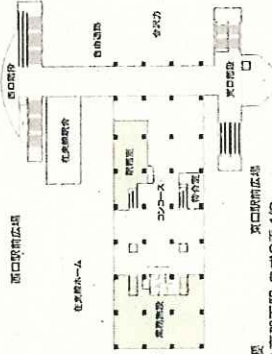
さくらと雪の平原

ガラス面には、高田公園の桜吹雪や高田平原の雪原をイメージさせる模様をプリントし、
緑色のパネルは風に舞う桜の花びらを表現しています。



コンコース

天井や柱、梁の仕上げには、新形態を用いて自然な温もり
のある空間を目指しています



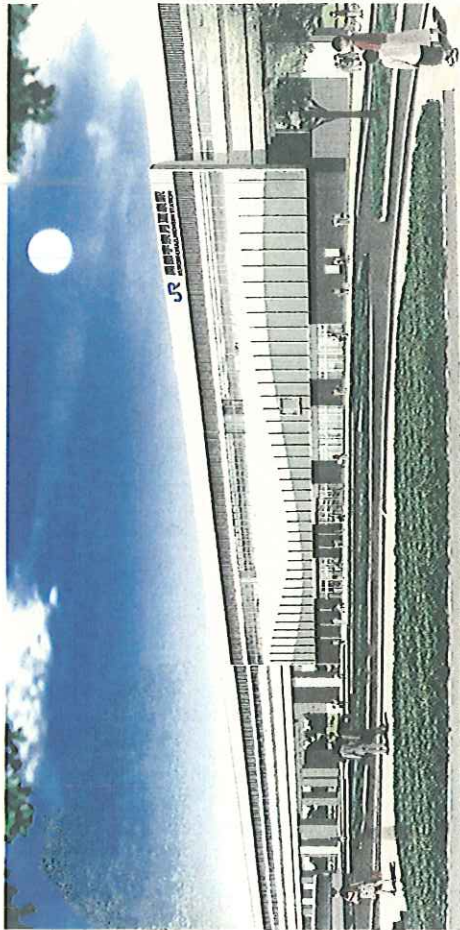
■計画概要
駅形状: 高菜下駅 島式2面4線
ホーム長: 312m
昇降設備: EV-4台、ESC-10台(都市施設を含む)
※エレベーターは建設費削減のため設置せず



高田公園の桜



秋の妙高山

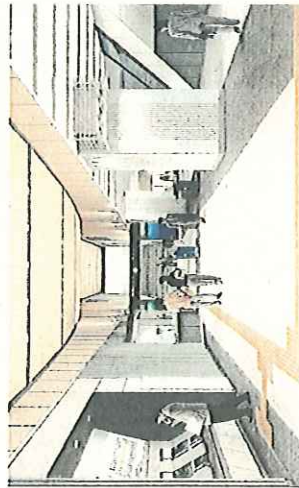


黒部宇奈月温泉駅

Kurobe-Unazuki Onsen St.

デザインテーマ

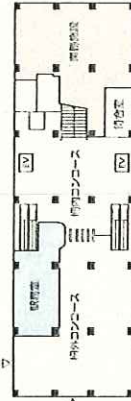
- 豊富な水を運ぶ黒部の自然が映り込んだ駅
- 黒部の自然(風や水、雲の流れ、立山の山並み等)を幾重にも重なる壁やかなウェーブラインで表現しています。
- 峰々に残る雪の白を基調色とし、素材や色の変化により立山の稜線の重なりや樹の深さを柔らかに表現しています。
- ホーム側からは、立山連峰と日本海の風景をパノラマ的に自然色のまま一望できます。



コンコース



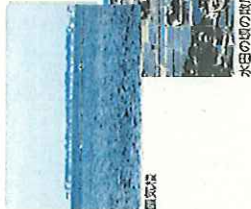
ホーム



駅前広場



コンコース



立山連峰



カタルイカ島

『見えない駅・魅せる駅』

糸魚川駅

Itoigawa St.

デザインイメージ

- 日本海と北アルプスに抱かれた、雄大な自然を感じさせる駅
- 日本海の波、北アルプス、ジオパークの断面、ヒスイをイメージしたデザインとしています。
- 大地をイメージした壁面にストライプをダイナミックに配し、ジオパークの地層とヒスイを表現しています。
- ガラス面に濃淡の変化を持たせることで、日本海の波と北アルプスの稜線を表現すると共に、内部からの眺望に変化をもたらしします。



コンコース



ホーム



改札口



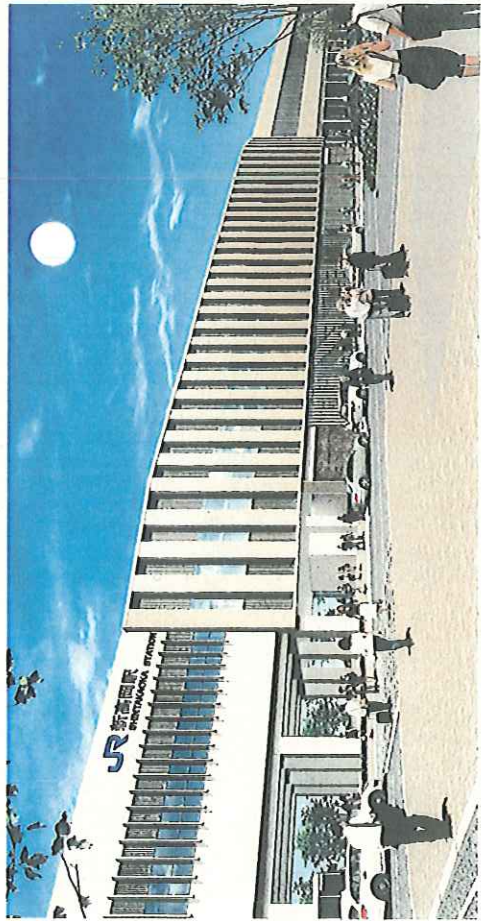
駒形山



糸魚川川げんのかげり



日本海側から見た糸魚川ジオパーク



新高岡駅

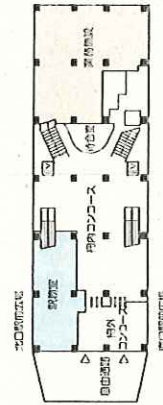
Shin-Takaoka St.

デザインイメージ
— 飛越能の歴史を継承する駅 —

- 歴史に育まれた瑞隆寺の回廊や縦格子(さまのこ、ささら戸)などをデザインモチーフとして、リズミカルな縦のラインを強調したデザインで表現しています。
- 外壁は、合掌造り、高岡銅器や能登の珠洲燐などを感ぜさせる色合いとしています。
- 夜には、駅からまれる光が能登のキリコ祭りの灯明や砺波地域の夜高祭りの行燈を彷彿とさせます。



ホーム



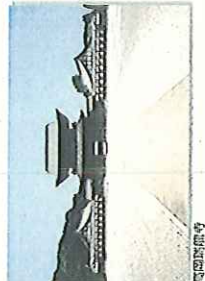
コンコース



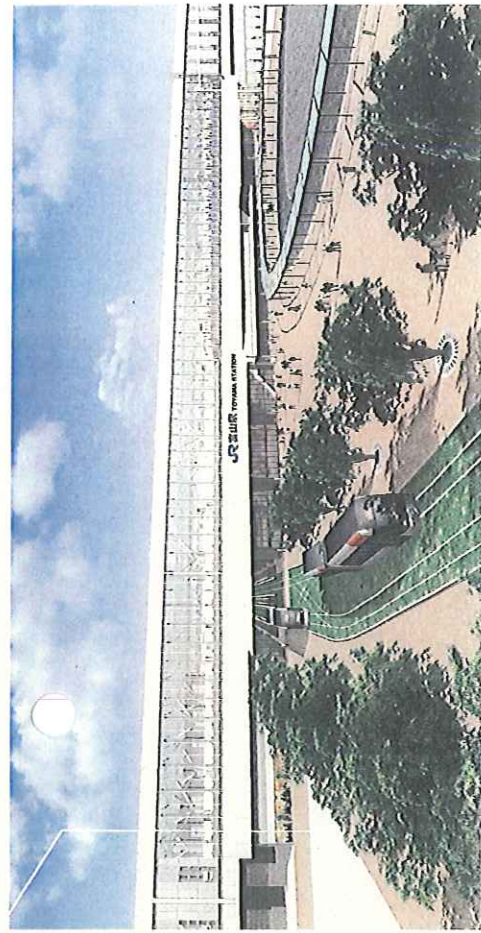
川町舟井越しの立山御座



全盛町



瑞隆寺



富山駅

Toyama St.

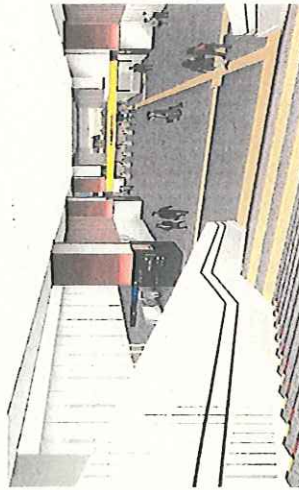
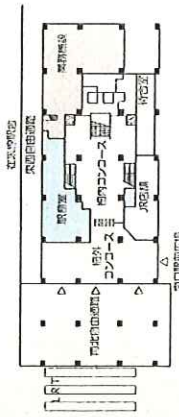
デザインイメージ

— 静謐な雪にたまたむ木立の駅 —

- 富山らしさを、立山杉の木立のたまたまいと雪のイメージを中心にデザインしています。
- 縦ラインと白色系を基調とし、雪の立山通峰、立山杉の木立をイメージさせます。
- ホームの独創的な白い柱を雪の立山杉の木立に見立て、ガラススクリーン越しにドラマチックに見せます。



ホーム



コンコース



立山ライノール



おつら岡の盛



羽山から見る立山御座



金沢のまちを流れる水、 「伝統と創造」の調和をイメージした駅



DESIGN CONCEPT

まちが見える、心と体に気持ちがいい駅

粟東広場の『もてなしドーム』と呼称した、ゆずやかで麗らかな山面屋根と大きなガラス壁は、まちを流れる武野川と犀川をイメージさせるとともに、豊かな空間と視界の広がりを実現しています。また、漆器をイメージさせる黒を外壁に用い、落ち着きの中に神秘的で洗練された念入れらしさを表現しています。

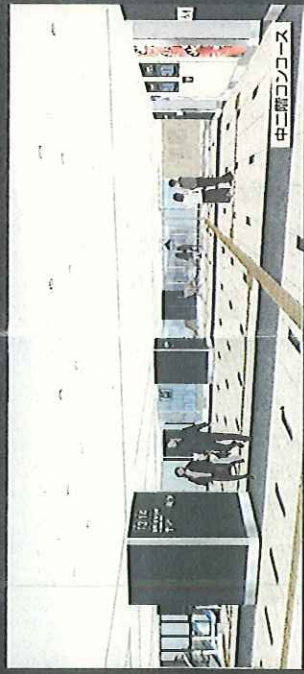
機高炊



金箔

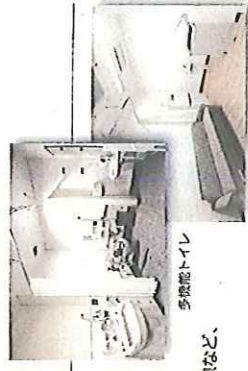


九谷焼



使いやすい

- ・車椅子利用者を始め様々な方が利用できる多機能トイレ
- ・子供の授乳や高齢者の方の休憩など、とんでもない多目的な多目的室



わかりやすい

- ・視認性を高めた見通しの良いコンコース空間

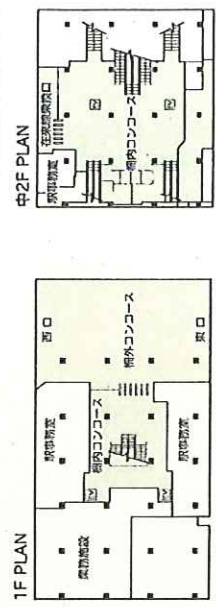


移動しやすい

- ・見つけやすく安心して利用できるシーズルエスカレーター
- ・乗り口の水平部が長く、乗り降りしやすいエスカレーター
- ・使いやすいに配慮した動線計画

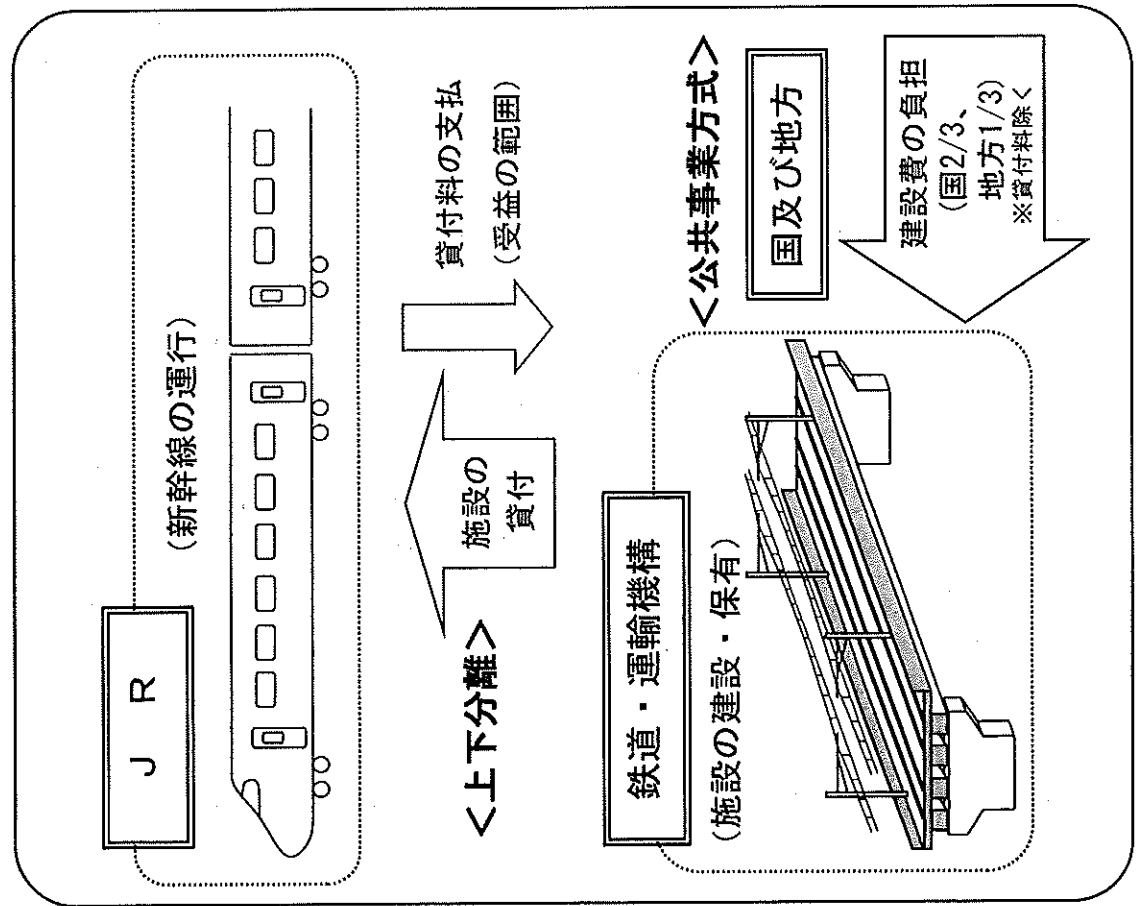


金沢駅平面プラン



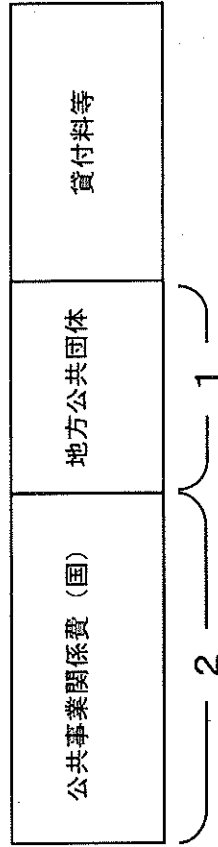
整備新幹線の整備方式について(上下分離)

【整備方式】



○安定的な財源見通しを確保

財源スキーム



○基本条件の確認等

- ・ 安定的な財源見通しの確保
- ・ 収支採算性
- ・ 投資効果
- ・ JRの同意
- ・ 並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

すべて確認された
場合のみ着工

北陸新幹線 長野～金沢間開業に伴う運行計画の概要について

2014年 8月 27日
東日本旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

北陸新幹線長野～金沢間の開業に伴う運行計画の概要が決定いたしましたので、お知らせします。

■北陸新幹線 金沢開業について

◇開業日 2015年3月14日(土)

◇運転本数

- ・かがやき (東京～金沢間直通列車 (速達タイプ)) 10往復
- ・はくたか (東京～金沢間直通列車 (停車タイプ)) 14往復
(長野～金沢間運転列車 (停車タイプ)) 1往復
- ・つるぎ (富山～金沢間運転列車 (シャトルタイプ)) 18往復
- ・あさま (東京～長野間運転列車 (現長野新幹線タイプ)) 16往復

	東	上	大	熊	本	高	安	軽	佐	上	長	飯	上	糸	黒	富	新	金
	京	野	宮	谷	田	崎	名	沢	平	田	野	山	高	川	泉	山	岡	沢
かがやき	●	■	●								●						●	●
はくたか	●	●	●		■	■	■	■	■	■	●	■	●	●	●	●	●	●
つるぎ												●	●	●	●	●	●	●
あさま	●	●	●	■	■	●	■	●	●	●	●							

●は停車、■は一部通過

◇編 成 E7系・W7系 12両編成

※あさま号の一部はE2系 8両編成で運転します。

◇到達時分

- ・東京～金沢間 最速達列車は2時間28分
- ・東京～富山間 最速達列車は2時間 8分

■在来線特急列車等について

◇北陸新幹線金沢開業に伴い、以下の列車の運転を取り止めます。

- ・特急「はくたか」(越後湯沢～金沢・福井・和倉温泉間)
- ・特急「北越」(新潟～金沢間)
- ・特急「サンダーバード」(金沢～富山・魚津・和倉温泉間)

※なお、現在大阪～和倉温泉間を直通している4往復のうち、1往復の運転については継続します。

- ・特急「しらさぎ」(金沢～富山・和倉温泉間)
- ・特急「おはようエクスプレス」(金沢～富山・泊間)
- ・快速「くびき野」(新潟～新井間)
- ・快速「妙高」(直江津～長野間)

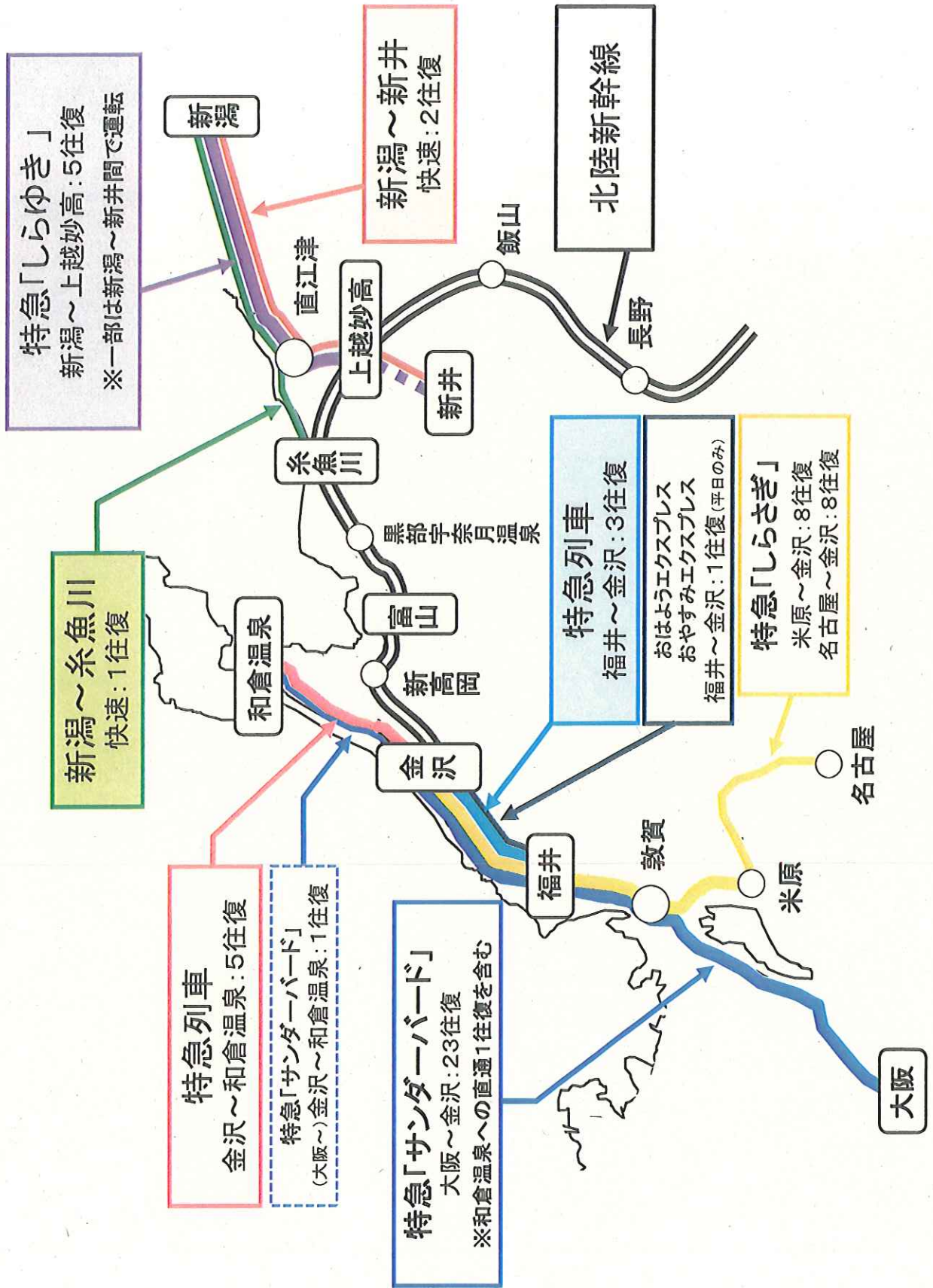
◇新たに、以下の列車を運転します。

- ・新潟～上越妙高間で、特急「しらゆき」を5往復運転します。
※このうち一部は、新潟～新井間で運転します。
- ・金沢～和倉温泉間で、特急列車を5往復運転します。
- ・福井～金沢間で、特急列車を3往復運転します。
- ・新潟～新井間で、快速列車を2往復運転します。
- ・新潟～糸魚川間で、快速列車を1往復運転します。

■具体的な運行計画等については、詳細が決定次第、お知らせいたします。

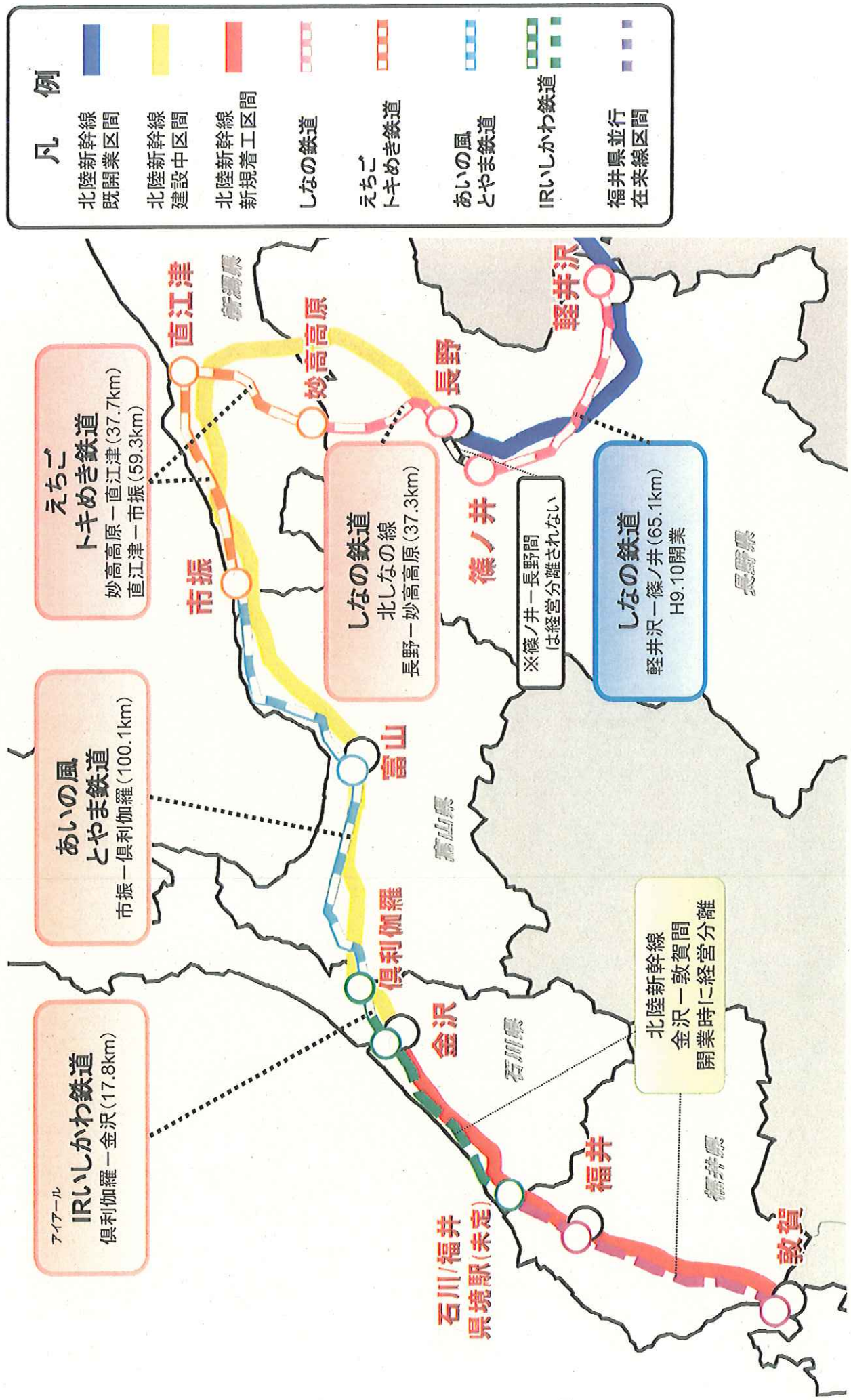
北陸新幹線長野～金沢開業時の特急・快速列車について

別紙

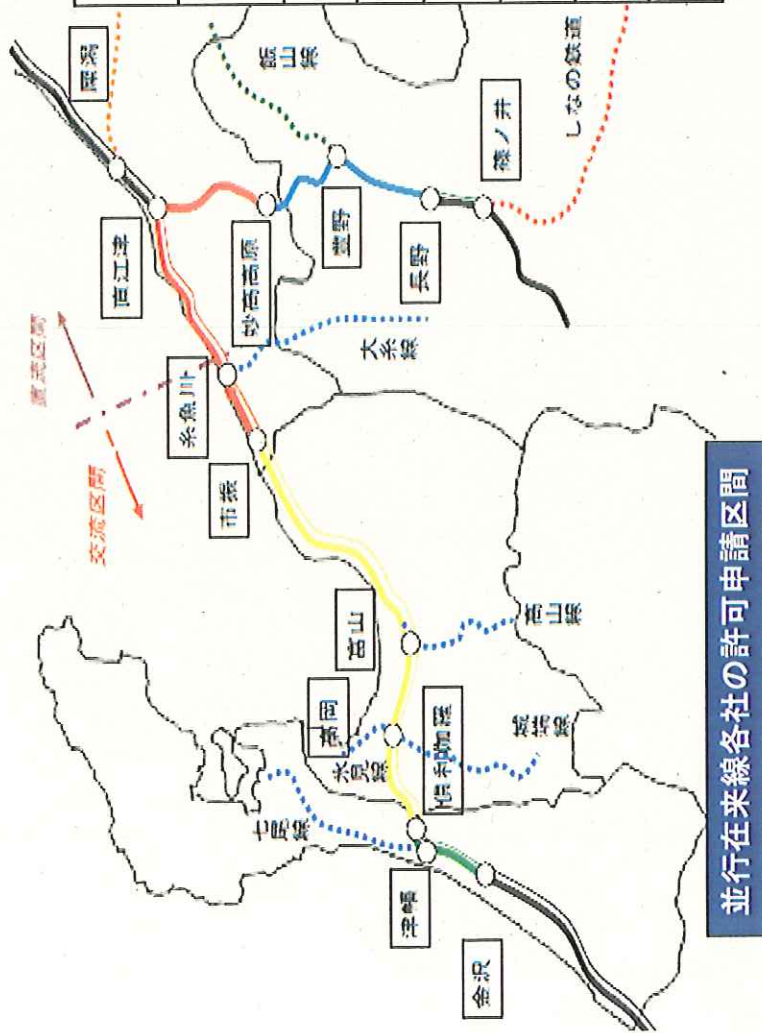




北陸新幹線の並行在来線区間

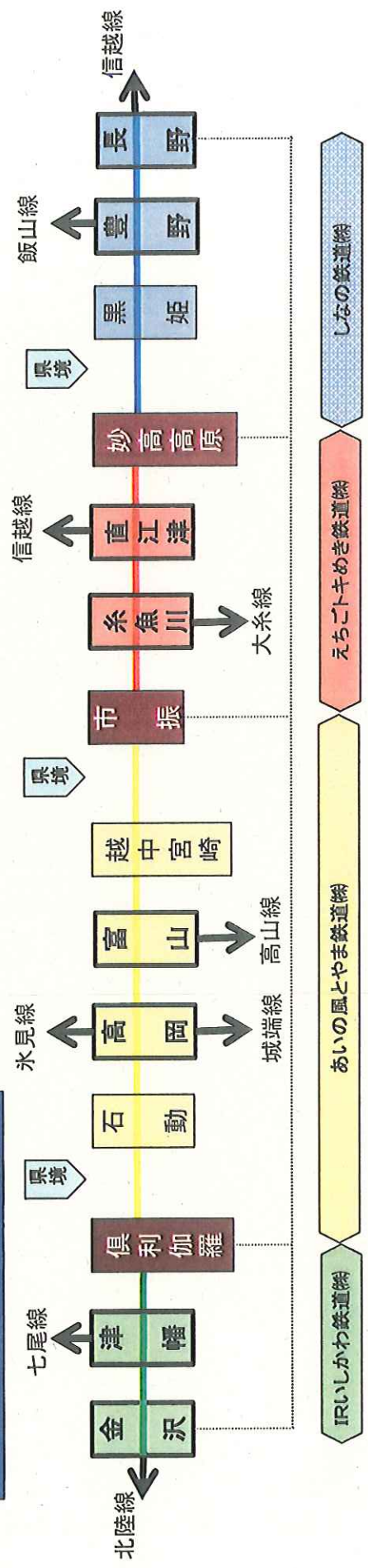


北陸新幹線の並行在来線について



並行在来線各社の許可申請区間

申請者	IRいしかわ鉄道㈱	あいの風とやま鉄道㈱	えちごトキめき鉄道㈱	しなの鉄道㈱
許可区間	金沢駅～俱利伽羅駅	俱利伽羅駅～市振駅	市振駅～妙高高原駅	妙高高原駅～長野駅
営業キロ	17.8Km	100.1km	97.0km	37.3km
駅数 (共同使用駅含む)	5駅	21駅	21駅	8駅
代表取締役社長	七野利明	市井正之	嶋津忠裕	藤井武晴
事業種別	第一種鉄道事業			
許可日	平成26年2月28日			
開業予定	平成26年度末(北陸新幹線(長野～金沢間)開業日)			



※ は、並行在来線会社間の共同使用駅

2012年9月4日
東日本旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

北陸新幹線用の新型車両について

- 北陸新幹線の金沢開業にむけて、JR東日本とJR西日本は、新型新幹線車両を共同開発いたします。
- 車両のトータルコンセプトを「大人の琴線に触れる『洗練さ』と心と体の『ゆとり・解放感』」とし、北陸新幹線に新たな鉄道の旅を提供いたします。

1. 車両の概要【別紙1】

新型新幹線車両は12両編成で、プレミアムブランドである「グランクラス」を導入します。

また、アクティブサスペンションを搭載し、より乗り心地の良い車両とするほか、バリアフリー設備の充実や客室への電源コンセント設置、車内の全ての洋式トイレに温水洗浄機能付便座を設置するなど、サービス設備をより充実いたします。

地震時の安全対策としては、ブレーキ力を向上させブレーキ距離を短縮します。

なお、北陸新幹線の営業最高速度は260km/hです。

2. 車両デザイン

『洗練さ』は、日本の伝統と最新技術の融合により新たな価値を生むことで表現し、『ゆとり・解放感』は、和風の空間に集うことで得られる心地よさで表現することとしました。これらに共通しているキーワードを“和”とし、今後首都圏と北陸新幹線沿線を結び、日本の伝統文化と未来をつなぐという意味から“和”の未来”を車両のデザインコンセプトとしました。

(1) エクステリアデザイン【別紙2】

高速で走行するための造形と日本の伝統的な色使い、新幹線が走行する沿線の風景を融合させ、スピード感と精悍さを表現しています。

- ・先頭形状は環境性能を考慮した空気力学的な最適形状とするデザインを採用し、*One motion line*（ワンモーションライン シンプルな流線形）とネーミングしています。
- ・車体上部色を「空色」、車体色を「アイボリーホワイト」、車体中央の帯色を「銅色（カッパー）および空色」としています。

(2) インテリアデザイン【別紙3】

<グランクラス>

伝統を感じる空間と先進の機能を持つシートがお互いを高めあうことで、居心地の良い、ゆとりある空間を感じていただけるように演出しています。

<グリーン車>

日本の伝統的な様式美とモダンな感覚とをアレンジすることで、落ち着きや気品を感じていただけるように演出しています。

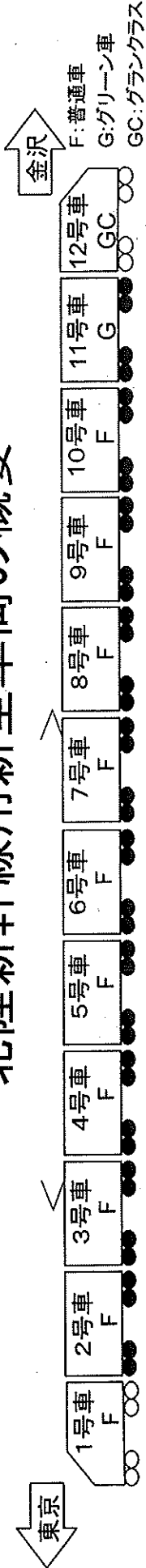
<普通車>

旅の期待感やワクワク感を感じながら、少しシックで大人の雰囲気を楽しんでいただけるように演出しています。

3. 新型車両の落成時期

JR東日本では2013年秋に、JR西日本では2014年春に第一編成が落成する予定です。

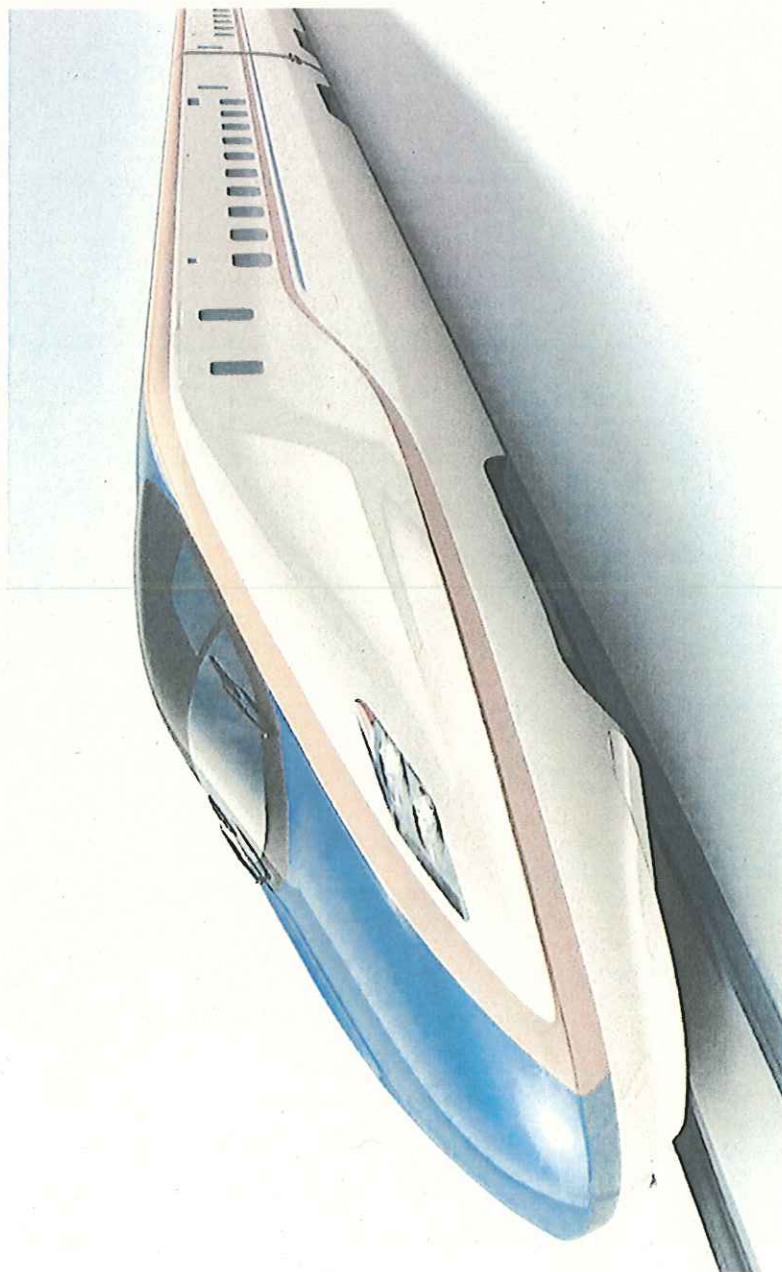
北陸新幹線用新型車両の概要



E7系(JR東日本)、W7系(JR西日本)		E2系(あさま)	
編成	12両(10M2T)		8両(6M2T)
定員	グランクラス:18名 グリーン車:63名 普通車:853名 合計:934名	グリーン車:51名 普通車:579名 合計:630名	
シートピッチ	グランクラス:1300mm グリーン車:1160mm 普通車:1040mm	グリーン車:1160mm 普通車:980mm	
営業最高速度	東京～大宮:110km/h 大宮～高崎:240km/h 高崎～金沢:260km/h	東京～大宮:110km/h 大宮～高崎:240km/h 高崎～長野:260km/h	
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乗り心地の向上 グランクラス車両:フルアクティブサスペンション その他車両:セミアクティブサスペンション ○ 電源コンセント設置 グランクラス:全座席 グリーン車:全座席 普通車:窓側座席および車端部 ○ トイレ 全洋式トイレに温水洗浄機能付便座を設置 		
バリアフリー設備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 改良型ハンドル形電動車いす対応多目的室 ○ 改良型ハンドル形電動車いす対応大型洋式トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 車いす対応多目的室 ○ 車いす対応洋式トイレ 	
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話型非常通話装置(客室内およびトイレ内) ○ 客室、デッキ部、通路部防犯カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常ブザー(客室内およびトイレ内) 	
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブレーキ距離を短縮する対策: ・ 停電検知装置を設置し、非常ブレーキ動作時間を短縮 ・ ブレーキ性能の向上 ○ 車両の逸脱防止対策:逸脱防止ガイドの搭載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブレーキ距離を短縮する対策: ・ 停電検知装置を設置し、非常ブレーキ動作時間を短縮 ○ 車両の逸脱防止対策:逸脱防止ガイドの搭載 	

北陸新幹線用新型車両のエクステリアイメージ

- ◇ 高速で走行するための造形と日本の伝統的な色使い、新幹線が走行する沿線の風景を融合させ、スピード感と精悍さを表現



先頭形状＝ワンモーションライン

スピード感を醸し出すようにシンプルな流線形で構成

車体上部色＝空色

北陸新幹線の沿線に広がる空の青さを表現

車体色＝アイボリーホワイ

日本的な気品や落ち着きを表現

帯色＝銅色（カッパー）および空色

日本の伝統工芸である銅器や象嵌の銅色と沿線の空の青さをモチーフに伝統と未来的なイメージの融合を表現



北陸新幹線用新型車両のインテリアイメージ

<グランクラス>



伝統を感じる空間と先進の機能を持つシートがお互いを高めあうことで、居心地の良い、ゆとりある空間を感じていただけるように演出しています。

<グリーン車>



日本の伝統的な様式美とモダンな感覚とをアレンジすることで、落ち着きや気品を感じていただけるように演出しています。

<普通車>



旅の期待感やワクワク感を感じながら、少しシックで大人の雰囲気を楽しんでいただけるように演出しています。